

足立区議会議員

生まれて安心 暮らして安全 歩いて楽しい 足立区に。

長谷川たかこ 区議会 レポート

www.takahase.com

1973年3月16日生まれ。中央大学法学部 卒業、青山学院大学大学院 修了。国会議員元秘書。
足立区議会議員、文教委員会 委員、予算委員会 委員、足立区議会民主党 副政調会長、
民主党東京都連男女共同参画委員会 役員などをつとめる。13才と10才になる娘の子育て真っ最中。

発行：足立区議会議員 長谷川たかこ

〒120-8510 足立区中央本町 1-17-1

TEL/FAX 03-6380-6682

E-mail: info@takahase.com

2011年・春

第5回

足立区初!

マニフェスト
大賞

「行政・街づくりへのカラーユニバーサルデザイン(CUD)の導入」

最優秀政策提言賞受賞

Manifesto
Awards

全国で一番の取り組みが進んでいます

私のライフワークのひとつである「行政・街づくりへのカラーユニバーサルデザイン(CUD)の導入」が、第5回マニフェスト大賞(審査委員長:北川正恭早稲田大学マニフェスト研究所所長)で「最優秀政策提言賞」を受賞いたしました。

今年で5回目を迎え、年々その重要性が認知されてきたマニフェスト大賞は、党派を問わず全国から過去最高の1291団体1540件の応募があり、7部門で表彰が行われました。

区議会で「カラーユニバーサルデザインの導入」を提案させていただいて以来、足立区では区の職員の皆様や専門家の皆様のお力添えをいただきながら、全国的にもトップレベルと言えるまで取り組みが進んでいます。



(写真上)

授賞式でのスピーチ。ご協力いただきました皆様への御礼と、今後のさらなる取り組みについて述べました。



(写真右)

北川正恭審査委員長と。



審査員 講評

全国で男性の20人に1人、女性の500人に1人が色覚障害をもつとして、公共施設の案内表示や、区が発行する印刷物について、「カラーユニバーサルデザイン」の導入を提言。具体的には、区案内表示や印刷物を作成する際に色使いを配慮することで対応する。これに伴う新たな財政負担は生じない。この提言によって、色覚障害者の生活の利便性が高まると共に、色覚障害への人々の理解が深まることが期待される。



長谷川たかこの取り組み

私の目標のひとつである「みんなにやさしい街づくり」は、大きな予算をかけなくても、行政や区民の皆さんとの協力、ちょっとしたアイデア・気遣いで実現できるものも多くあると思います。このCUDの取り組みの出発点も区民の方からのお声です。これからも区民の皆さんのお声を大切にし、区民の皆さんの目線での政策を提案していきたいと思っています。



このレポートは、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構*のアドバイスのもと、色覚の個人差を問わずご覧いただけるようカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しました。(ロゴやイラストは対象外)*カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)とは、色覚バリアフリー/カラーユニバーサルデザインへの配慮を啓発する活動を行うことを目的に2004年に設立されたNPO法人です。